

## 令和4年度 進行管理表抜粋(主な動きがあったところ、KPIに影響したところ)

No.	事業	担当課	評価	令和4年度の実績	令和5年度の実績	施策の方向
4	こども家庭総合支援拠点の設置	健康こども課	A	令和4年4月1日から子ども家庭総合支援拠点を設置した。専用の相談室を親子交流スペースとすることで、子連れで相談に来庁した際、時間を要する場合でも第三者に気を使うことなく利用することが可能となった。 また、子ども家庭支援員配置の予算を確保し、妊娠期から中高生の家庭まで幅広く相談対応を行うことが可能となった。 実績 電話・来所:13人延18件 訪問:16人延31件 関係者連絡・連携:10件	「森町子ども家庭総合拠点」として、すべての子どもとその家庭及び妊産婦等を対象に幅広く相談対応を行うとともに、相談の利用促進を図る。 妊娠から出産後間もない時期の家庭に対し、子育て世代包括支援センターの伴走型相談支援等、子育て支援関連事業と連携し、きめ細やかな支援を行う。 子ども家庭支援員について広く周知し、相談の利用促進を図る。	子育て支援の充実
12	広域婚活事業	健康こども課	A	結婚を希望する県民を支援する拠点として、静岡県と市町で構成するふじのくに結婚応援協議会が「ふじのくに出会いサポートセンター」を設置した。令和4年1月から会員募集を開始した。 広報森町やLINEでPRを積極的に行うとともに、9月には森町で出張登録相談会を開催し5名に来庁いただくことができた。	静岡県と市町で構成するふじのくに結婚応援協議会が設置した「ふじのくに出会いサポートセンター」のお相手探しやお見合い機能を令和4年4月から開始した。事業のPR等、県・協議会と連携して実施する。 9月に出張登録会、1月に森町内でふじのくに出会いサポートセンターとの連携イベントを開催予定。 4月末の会員数 男性9名(30代:1名 40代:4名 50代:4名)、女性2名(30代:2名)  【R5.4.30 現在 県全体】 申込件数:45,975件 お見合い成立件数:3,518件 交際成立件数:181件 成婚件数:16件	若い世代の結婚・出産に対する意欲喚起
15	結婚新生活支援に関する事業の創設と推進	定住推進課	A	●森町内での結婚による新生活を望む若い世代の夫婦を経済面で支援し、町内の婚姻数の向上と婚姻を契機とした転出の抑制、また若者のUターンを目的とし、次の経済的支援事業を実施した。 ・「森町新婚さん応援金」R3.4.1～R8.3.31の間に婚姻し、町内に住民登録した、婚姻日の年齢が双方またはいずれかが40歳未満の夫婦を対象に、新生活に必要な費用(住居に係る費用、家具家電代、車両経費等)について補助を行う。上限30万円 ・「結婚新生活支援補助金」R4.1.1～R5.3.31までの間に婚姻し、町内に住民登録した、婚姻日の年齢がともに39歳以下の夫婦を対象に、住宅に係る費用について補助を行う。夫婦ともに39歳以下の場合は上限30万円、夫婦ともに29歳以下の場合は上限60万円 ●上記対象者に電動アシスト自転車の無料貸出(6か月)を実施した。 【実績】「森町新婚さん応援金」:20組 応援金額 5,998,000円 「結婚新生活支援補助金」:4組 補助金額 1,411,000円 「電動アシスト自転車貸出」:1組	森町内での結婚による新生活を望む若い世代の夫婦を経済面で支援し、町内の婚姻数の向上と婚姻を契機とした転出の抑制、また若者のUターンを目的とし、次の経済的支援事業を実施する。 ・「森町新婚さん応援金」R3.4.1～R8.3.31の間に婚姻し、町内に住民登録した、婚姻日の年齢が双方またはいずれかが40歳未満の夫婦を対象に、新生活に必要な費用(住居に係る費用、家具家電代、車両経費等)について補助を行う。上限30万円 ・「結婚新生活支援補助金」R5.1.1～R6.3.31までの間に婚姻し、町内に住民登録した、婚姻日の年齢がともに39歳以下の夫婦を対象に、住宅に係る費用について補助を行う。夫婦ともに39歳以下の場合は上限30万円、夫婦ともに29歳以下の場合は上限60万円  新婚家庭へ電動アシスト自転車の貸出しを行う(1組6か月間)	若い世代の結婚・出産に対する意欲喚起

No.	事業	担当課	評価	令和4年度の実績	令和5年度の実績	施策の方向
26	不登校・いじめ対策事業	学校教育課	A	不登校児童生徒については、森町教育支援センター「わかば」を北館に常設として毎日開設を開始した。活動時間を午前9時30分から午後3時までとし、指導員を3名雇用し、毎日2名体制で対応をした。町内在住の小中学生に学校以外の居場所の提供を行うとともに、スクールカウンセラーを月2回程度配置して児童生徒・保護者の希望に応じて相談・支援業務を行うことができた。旭が丘中では、教室で授業を受けることが困難な生徒のために別室登校の教室を確保し、指導員も1名配置し、わかばとは別の居場所作りができた。また、いじめ防止対策については、森町いじめ防止対策連絡協議会及び森町いじめ防止等対策推進委員会を開催し、情報共有やいじめ防止についての取組状況などを話し合いいじめ防止に取り組むことができた。加えて、いじめの早期発見・早期対応のため、ネットパトロールを小学校年3回、中学校年6回実施した。	不登校児童生徒については、令和5年度は、役場北館に教育支援センター「わかば」を常設し、活動時間を午前9時00分から午後3時までに変更し、指導員も5名雇用し、毎日3名体制で対応をする。町内在住の小中学生に学校以外の居場所の提供を行うとともに、スクールカウンセラーを月2回程度配置して児童生徒・保護者の希望に応じて相談・支援業務を行う。活動内容も校外活動も取り入れ、様々な体験を増やしていく。昨年度の旭中同様、森中にも別室登校用の部屋を確保することとする。また、いじめ防止対策については、森町いじめ防止対策連絡協議会及び森町いじめ防止等対策推進委員会を開催し、情報共有やいじめ防止についての取組状況などを話し合いいじめ防止に取り組む。加えて、いじめの早期発見・早期対応のため、ネットパトロールを小学校年3回、中学校年6回実施する。	教育力の強化・教育レベルの向上
31	放課後子供教室の開催	社会教育課	B	毎週水曜日、旧天方小学校を会場に、三倉・天方地区児童を対象とする三倉・天方放課後子供教室を実施。23名の参加申込があり、新型コロナウイルス感染症状況を見極めながら32回の活動を実施した。安全面を重視したため、講師による体験活動は2回のみとなった。	森小学校の全児童を対象に体験活動を基本とする新たな放課後子供教室を令和5年度から実施する。森小学校で実施しない週は三倉・天方放課後子供教室を引続き実施する。	教育力の強化・教育レベルの向上
33	自転車を活用した観光振興	産業課 企画財政課	A	地方創生臨時交付金を活用し、森町観光協会が実施するレンタサイクル事業に電動アシスト自転車を7台を導入し、森町体験の里アクティ森に配置した。 令和4年度における貸し出し台数は、遠州森駅が普通自転車190台、電動アシスト自転車178台となっている。アクティ森は、マウンテンバイク235台、E-bikeが218台となっている。 また、森町観光協会や町内事業所と連携し、電動アシスト自転車の普及とレンタサイクル利用促進を図るため、電動アシスト自転車の特別試乗会をアクティ森において実施した。(参加者174名、8割が町外からの参加)	観光協会と連携し、新たに電動アシスト自転車をレンタサイクル事業に追加し、町内周遊観光の促進につなげる。 また、併せて町内外における電動アシスト自転車の普及を図るため、関係事業者や関係団体と連携し、電動アシスト自転車試乗イベントを実施する。	「遠州の小京都」を核とした交流・集客の創出・拡大

No.	事業	担当課	評価	令和4年度の実績	令和5年度の方針	施策の方向
42	友好都市交流事業	学校教育課 社会教育課 産業課	A	<p>(学校教育課) 小学5年生6名(各小2名ずつ)、中学2年生4名(各中2名ずつ)、引率5名、計15名で7月29日(金)～8月1日(月)の日程で訪問を予定していたが、新型コロナウイルスの影響により中止となった。訪問交流に代わる交流として、静岡県森小と北海道森小、静岡県森中と北海道森中でそれぞれオンラインで交流を行い、お互いの町や学校のことをよく知ることができた。(評価:B)</p> <p>(社会教育課) 北海道森町友好親善交流(女性交流)は4人の研修生の派遣を実施した。 『石松カップ・かわせみカップ』(主催:森FC)では東京都江東区のサッカーチームの参加があった。(評価:A)</p> <p>(産業課) ・北海道森町→桜まつりへの訪問は中止したが、森町産業祭への招待は実施し、歓迎交流会及び物産販売を実施した。 ・小田原市→森町商工会が小田原市かまぼこまつりへの参加を予定していたが、コロナ感染拡大のため、県外事業者の参加は中止 ・江東区→江東区民まつり中央まつりへ参加し、お茶、和菓子、クラウンメロン、梨ビールなどの特産品のPRを実施した。 ・小京都関係→全国京都会議(島根県松江市)への参加を実施した。(評価:A)</p>	<p>(学校教育課) 令和5年度は第17回目の派遣の年となり、8月2日(水)から8月4日(金)の日程で、小学生6名・中学生4名・引率者5名で訪問をし、合同合宿をとって一層の親睦を深める。</p> <p>(社会教育課) 北海道森町友好親善交流(女性交流)は、今年度北海道森町の女性研修生を受け入れる。</p> <p>(産業課) 前年度に引き続き、北海道森町、神奈川県小田原市、東京都江東区、全国京都会議を中心に、友好都市交流に向けての準備を進める。</p>	広域交流ネットワークの形成
51	ふるさと交流会の実施	定住推進課	A	<p>首都圏在住の森町出身者やゆかりの人々との交流を通じ、町の魅力発信者になってもらうとともに、応援してもらうためのネットワークづくりを目的としたふるさと会交流事業として「第2回森町ふるさと交流会」を東京都中央区銀座で開催した。新規参加者10人及び町関係者を含む合計44人が参加した。</p>	<p>「第3回ふるさと交流会」を実施する 会の内容、新規会員の募集方法やルールについて幅広く検討をし、森町の魅力の発信者や森町応援者を増やし充実した森町ふるさと会事業としていく。</p>	地域ブランドの創造・プロモーション
53	町若手女性職員による情報発信、政策提案	企画財政課	A	<p>・森女HAPPYプロジェクトのInstagramによる情報発信。令和4年度投稿数76件、フォロワー数2,220アカウント。 ・第6回森女HAPPYプロジェクトフォトコンテストを令和4年10月1日から令和4年12月4日に開催した。募集テーマ「未来に届けたい森町」、応募数659件、応募期間のInstagramフォロワー数2,025→2,115(+90)。 ・森町PR動画を作成し、森町公式YouTubeチャンネルで公開した。</p>	<p>・森女HAPPYプロジェクトInstagramで森町の情報を継続して発信していく。 ・森女HAPPYプロジェクトInstagramでフォトコンテストを実施する。 ・森女HAPPYプロジェクトで作成した森町PR動画について、YouTubeやInstagram等のSNS広告を活用して、積極的に発信していく。</p>	多様な人材の活躍の推進

No.	事業	担当課	評価	令和4年度の実績	令和5年度の実績	令和5年度の実績
56	待機児童ゼロ対策事業	健康こども課	A	令和4年4月1日時点の待機児童数は3人、前年比-8人となった。保育需要の増加傾向は続いており、保育の受け皿が不足している中で、既存施設に最大限入所できるよう調整を図った。特定の歳児の需要が突出して高いことにより、待機児童数の減少は図れたが、完全解消には至らなかった。受け皿確保のため民間事業者による保育所の新規開所が円滑に行われるよう支援を行ったことにより、令和5年4月からの保育定員が70人増加したことで令和5年度は待機児童が解消される見通しとなった。	令和5年4月1日に認可保育所「プティ森町園」(定員70人)が開園し、待機児童数は0人となった。引き続き待機児童の解消と潜在的待機の解消を図っていく。保育所の新規開所により、受け皿の確保は図れたが、今後も保育需要の動向や未就学児童人口の推計をみながら、多様化する保育ニーズへの対応や保育需要に沿った保育サービスの拡充のため、引き続き認定こども園化を検討する。	働きやすさの向上
67	商工業関連団体を通じた中小企業支援	産業課	S	<p>新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、森町商工会と連携した中小企業への支援を実施した。</p> <p>[商工会を通じた補助金]</p> <p>○森町中小企業等創業・事業承継支援事業補助金 新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けており、町内で創業及び事業承継に取り組む事業者へ補助金を交付する事業。(事業費の2/3補助、上限30万円)</p> <p>○森町企業紹介動画製作事業費補助金 新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けており、町内で自社及び自社商品を積極的に発信、紹介する動画を製作する事業者へ補助金を交付する事業。(事業費の1/2補助、上限20万円)</p> <p>○中小企業等コスト削減支援事業補助金 コロナ禍において原油価格や電気、ガス料金を含む物価高騰の影響を受ける事業者の経営継続を支援するため、専門家による経営診断等に係る費用や省エネルギー機器やコスト削減に資するシステム導入等、コスト削減への取組に係る費用の一部を支援する事業。(費用の1/2補助、上限30万円)</p> <p>○プレミアム商品券発行事業補助金 新型コロナウイルス感染拡大及び原油価格や物価の高騰により影響を受けている中小企業者や消費者を支援するため、町内での購買意欲の向上及び地域経済の活性化を図ることを目的に、プレミアム商品券を発行する事業。(発行部数8,000冊、プレミアム率30%)</p>	森町商工会と連携し、町内中小企業の販売促進強化等の支援を図る。	地場産業・既存産業の振興・活性化

No.	事業	担当課	評価	令和4年度の実績	令和5年度の実績	施策の方向
82	森町地域公共交通計画の推進	企画財政課	A	<p>森町地域公共交通計画中期事業の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共交通利用券助成事業の推進のため、袋井タクシーへ営業を行い、チラシとポスターの配架依頼を行った。</li> <li>・広報誌や森町公式LINEを活用した公共交通に関するPRを行った。</li> <li>・令和4年10月から三倉地区の児童生徒送迎バス「夢街道線」に、地域住民も乗せて無償運行する試験運行を開始した。</li> <li>・令和4年4月から町営バスに定期乗車券を導入した。</li> <li>・令和4年4月に愛知県豊明市へ乗合デマンドタクシー「チョイソコ」の先進地視察を行った。</li> <li>・交通事業へ乗合デマンドタクシー等の新たな公共交通導入のため、事業体制や導入意向等のヒアリングを行った。</li> <li>・森町地域公共交通法定計画(R6～R10)策定の事前調査を行い、関係事業者へヒアリングや住民アンケート調査等を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・森町地域公共交通計画長期計画事業を進めていく。</li> <li>・公共交通のPRや公共交通利用券助成事業の申請数増加など、森町地域公共交通計画短期・中期事業や継続事業の更なる推進を行う。</li> <li>・患者バスの見直しや乗合デマンドタクシー等の新たな公共交通の導入スケジュール等の検討を行い、森町地域公共交通法定計画へ記載する。</li> </ul>	定住環境としての魅力向上と移住促進
91	小中学校跡地利活用の充実	企画財政課	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R04.08.22 第1回森町小中学校跡地利活用庁内検討委員会開催</li> <li>・R04.04.15 第1回森町小中学校跡地利活用検討委員会開催</li> <li>・R04.08.31 第2回〃</li> <li>・令和4年9月1日付で「森町小中学校跡地利活用方針」を決定</li> <li>・台風被害のため、予定が後ろにずれたものの、令和4年12月森町小中学校跡地利活用検討業務委託公募型プロポーザルを実施し、株式会社長大を選定の上、翌1月に業務委託契約を締結した。</li> <li>・令和5年度実施予定のサウンディング型市場調査に向け準備を進めた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R05.04.05 第1回森町小中学校跡地利活用庁内検討委員会開催</li> <li>・R04.04.18 第1回森町小中学校跡地利活用検討委員会開催</li> <li>・R05.05.15 サウンディング調査前、学校跡地現地見学会開催</li> <li>・R05.05.17～18 サウンディング型市場調査開催</li> <li>・R05.09に事業者公募資料公開に向け、準備を進める</li> <li>・令和5年中に利活用事業者候補を決定できるよう準備を進める</li> <li>・利活用事業者候補決定に伴い、地域説明会や整備についての実施方法について検討を進める。</li> </ul>	町民活動・地域活動の活性化と効率的な行政経営
95	マイナンバーカード取得・活用促進	住民生活課 総務課	A	<p>(住民生活課)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・R5.3.31現在 交付枚数 12,895枚 交付率 72.9%(R4.1.1人口に対して) 総務省公表</li> <li>・毎週水曜日夜間開庁、毎月最終日曜日午前中日曜開庁の実施(マイナンバーカードの交付・申請補助・マイナポイント申込支援)</li> <li>・期日前投票所、商業施設、シニアクラブや児童館主催のイベント等での出張申請及び啓発物品の配布</li> <li>・希望する企業、団体を対象とした出張申請(民間企業)</li> <li>・回覧、広報紙への掲載及び森町公式ライン、同報無線による広報</li> <li>・森町病院、森町家庭医療クリニックにポスターの掲示</li> <li>・コンビニ交付サービスの導入</li> </ul> <p>(総務課)</p> <p>令和4年12月26日にコンビニ交付(住民票の写し、印鑑登録証明書、所得・課税証明書)を開始した。</p> <p>コンビニ交付の利用促進のため、窓口より手数料を100円安くする。</p>	<p>(住民生活課)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎週水曜日夜間開庁、毎月最終日曜日午前中日曜開庁の実施(マイナンバーカードの交付・申請補助・マイナポイント申込支援)</li> <li>・希望する企業、団体を対象とした出張申請</li> <li>・申請困難者を対象とした出張申請(申請時来庁方式)の検討</li> <li>・申請者への受取勧奨通知の発送</li> <li>・マイナポイント申込支援(9月末まで)</li> <li>・回覧、広報紙への掲載及び森町公式ライン、同報無線による広報</li> <li>・森町病院、森町家庭医療クリニックにポスターの掲示</li> <li>・コンビニ交付サービスの周知</li> </ul> <p>(総務課)</p> <p>マイナポータルのサービス検索・電子申請機能を利用し、手続をオンラインで行えるびったりサービスの利用シーンの拡大を目指す。</p>	町民活動・地域活動の活性化と効率的な行政経営